

経営比較分析表

埼玉県 久喜市

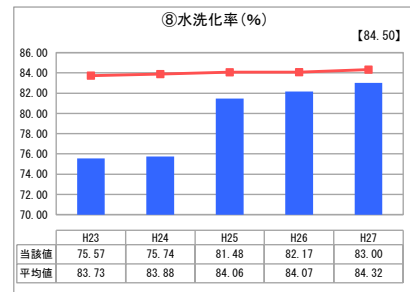
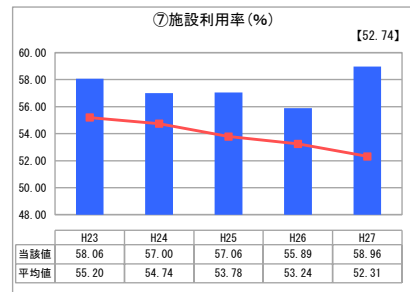
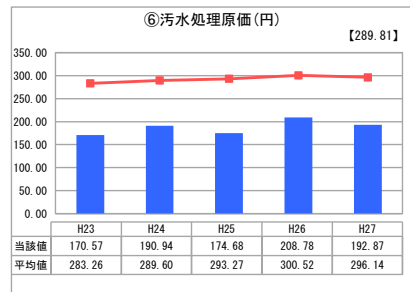
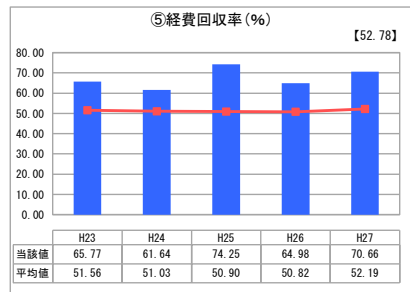
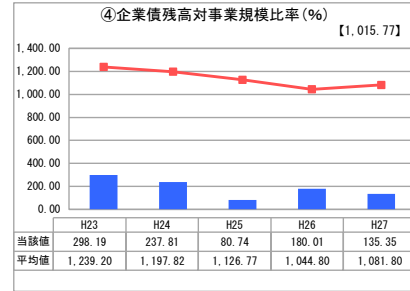
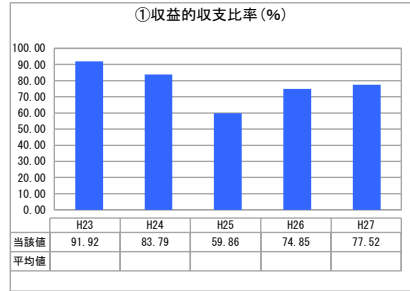
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	8.25	100.00
1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)			
3,650			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
154,527	82.41	1,875.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,726	17.28	736.46

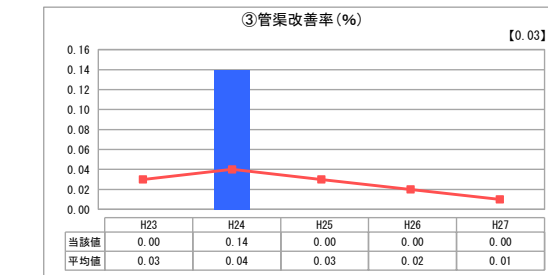
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
適正値である100%より低く推移しているが、平成25年度以降改善傾向にある。これは、接続者数の増加により使用料収入が増加したためである。しかし、経費回収率及び水洗化率が適正値の100%を下回っていることから、個別訪問等を通して未接続世帯への普及促進に取り組むなど、適正な使用料収入の確保に努めていく。また、更なる費用の削減についても、引き続き検討・実施していく。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均と比較し低く推移していることから、現状では類似団体よりも将来世代に対する負担が少ないと考えられる。しかし、今後処理施設等が法定耐用年数を迎え、改築更新費用が増加する見込みであることから、費用の平準化や更新事業の実施方針等を検討し、地方債発行額の抑制に努めていく。

⑤経費回収率
類似団体平均及び全国平均より高く推移しており、平成27年度は平成26年度と比較し改善傾向となっている。しかしながら、適正値である100%を下回っており、使用料収入の確保に加え、更なる費用の削減について引き続き検討していく。

⑥汚水処理原価
全体的に見ると上昇傾向ではあるが、全国平均及び類似団体平均と比較すると90円以上低額に抑えられている。今後は減少傾向となるよう、維持管理方法の見直し等を通して更なる費用の削減に取り組んでいく。

⑦施設利用率
全国平均及び類似団体平均と比較し、処理施設が適切に稼働していることがわかる。今後も更なる効率化に向け、適切な維持管理及び更新を図っていく。

⑧水洗化率
類似団体平均及び全国平均と比較し、低水準となっている。平成23年度以降増加傾向ではあるが、下水道の接続促進についてより一層取り組んでいく必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
本市の農業集落排水事業は昭和62年度より着手していることから、法定耐用年数に達しておらず、現時点では改築更新に積極的に取り組む必要は低いと考えられるが、修繕工事は必要に応じ適宜行っている。しかし、将来的に増大することが予想される改築更新需要に対して、費用の平準化や財源の確保について検討し、適切な管渠等施設の維持管理及び長寿命化に向けて、今から備える必要がある。

全体総括

単年度収支及び経費回収率が適正値である100%より低く推移しており、個別訪問等を通して未接続世帯への普及促進に取り組むなど、引き続き適正な使用料収入の確保に努める必要があるが、地方債の償還等による資本費の減少により、平成25年度以降改善傾向にある。しかし、今後、管渠が續々と法定耐用年数を迎え始めるだけでなく、処理場についても改築更新需要が大幅に増加することが予想されるため、引き続き適切な財源確保に取り組んでいく必要がある。なお、平成29年度より中長期的な経営計画である経営戦略の策定を予定していることから、本市の経営状況・課題等を的確に把握し、公営企業の基本原則である独立採算制の実現に向け、今後より一層の経営効率化及び健全化を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。